

第 73 回湘南科学史懇話会（藤沢市労働会館、2015 年 6 月 6 日(土) 2 時 00 分～6 時 00 分）

## 中江丑吉・市塵の思考者について

竹中英俊さん（竹中編集企画室協働代表）

### ●講演概要

中江丑吉（1889.8.14－1942.8.3）について話しをする。

中江兆民の長男として大阪に生まれ、1913 年に東京帝大法科大学政治学科を卒業後、翌年 8 月に袁世凱の憲法制定顧問となった有賀長雄博士の助手として北京へ。15 年夏にいったん日本に帰り、数ヶ月後に再び中国に渡り 30 年にわたる北京での生活を始める。

1919 年五四運動のさい（日本に来た時に兆民の家に世話になったことのある中国高官の）曹汝霖・章宗祥を救い、その前後から独学で中国古代学を研究。日本共産党の片山潜や佐野学をかくまい、中国革共産党員の鈴江言一の援助はするが、自らは、中国古典についての研究をするとともに、カント、ヘーゲル、マルクスやウェーバーを原書で精読する日々を送った。

1937 年蘆溝橋事件を「世界戦争の序曲」と断定し、幼馴染の関東軍参謀今田新太郎中佐に拡大防止を勧告。1941 年 12 月の太平洋戦争開戦直後、日独の枢軸側の必敗を予見し、北京の憲兵隊には「聖戦を白眼視するスネモノ」とみなされた。

肺結核で日本に戻り、福岡の九州大学病院で 1942 年 8 月死去。墓は青山墓地。北京の日本人墓に分骨。

没後に『中国古代政治思想』（岩波書店）、『中江丑吉書簡集』（みすず書房）が刊行される。また、丑吉を伝える最も優れたものとして鈴木正・阪谷芳直編『中江丑吉の人間像 兆民を継ぐもの』（風媒社）がある。

私にとっては、20 代後半、東大出版会にいて、現実の政治と社会に対して、人間として・出版人として、どのようにかかわるか、という問いに悩み、答えを出せないまま苦しんでいたときに、導きの星となった存在である。歴史哲学的洞察により、人類のヒューマニティを信じ、人間の可能性に確信を持ち、そして社会科学を駆使して現状を批判的に分析して、時代の行く末を見据えようとした、その透徹した思考とマッセ（大衆）の一人としての生き方は、その後の私の人間・出版人としての歩みの方向を定めたといっている。

そのような中江丑吉という人間の姿を話してみたい。

### ●プロフィール（自己紹介：2015 年 4 月）

竹中英俊（たけなかひでとし）

1952 年生まれ。早稲田大学を 1975 年に卒業。財団法人東京大学出版会には卒業以前の 1974 年に就職する。委託製作部門を経て、1980 年に編集部へ異動、1991 年に東京大学出版会労働組合執行委員長、1992 年に編集部長、1997 年に編集局次長兼編集部長、2001 年

に編集局長兼編集部長、2005年に常務理事兼編集局長兼編集部長、2008年に常務理事兼編集局長、2011年10月に常務理事、2012年4月に常任顧問、2015年3月退職。

編集者としては「横断媒介」をキー概念として、人と人とを結ぶ出版の基点に立った編集企画を目指した。企画・編集に関わった市販本の点数は、DVDを含め、404点。シリーズ企画を中心に整理すると以下ようになる。

1980年代—：学派を横断媒介する政治学の編集出版 『現代政治学叢書』全20巻（1988—2012予定）、『講座国際政治』全5巻（1989）、『行政学叢書』全12巻（2006—）、『国際政治学講座』全4巻（2004—）

1990年代—：専門を横断媒介する地域研究の編集出版 『東アジアの国家と社会』全6巻（1992—93）、『講座現代アジア』全4巻（1994）、『中東イスラム世界』全9巻（1995—98）、『現代中国の構造変動』全8巻（2000—01）、『日英交流史』全5巻（2000—01）、『現代南アジア』全6巻（2002—03）、『イスラーム地域研究叢書』全8巻（2003—05）、『アメリカ文化史』全5巻（2005—06）

2000年代—：学問を横断媒介する社会科学・公共哲学の編集出版 『社会科学の理論とモデル』全12巻（2000—10）、『公共哲学』全20巻（2001—06）、『シリーズ物語り論』全3巻（2007）、『公共する人間』全5巻（2010—11）

2000年代—：時代を横断媒介する復刊・新装版の編集出版 『新装版 日米関係史：開戦に至る十年』全4巻（2000）、『近代日本の思想家』全11巻（2007—08）、『日本政党史論』全7巻（2011）

ほかに『講座現代居住』全5巻（1996）、『社会保障と経済』全3巻（2009—10）。また、2013年刊行の『モンゴル帝国史研究 正篇』で著者が2015年度日本学士院賞受賞。

●日時：2015年6月6日（土）午後2時00分～6時00分

●会場：藤沢市労働会館 第3会議室、〒251-0053 藤沢市本町1-12-17

電話 0466-26-7811 小田急線「藤沢本町駅」徒歩10分、JR「藤沢駅」北口徒歩15分 <http://www.fujisawa-rodo.jp/access.html>

●参加費：1,000円

●連絡先：猪野修治（湘南科学史懇話会・代表） 〒242-0023 大和市渋谷3-4-1

TEL/FAX 046-269-8210 email [shujiino@js6.so-net.ne.jp](mailto:shujiino@js6.so-net.ne.jp)

湘南科学史懇話会 <http://www008.upp.so-net.ne.jp/shonan/home.htm>